

カスタマイズ設定ツール使用方法 (Mac)

Ver1.1.2

【Logosease カスタマイズの準備】

カスタマイズを行う場合、以下のものをご用意ください。

1. カスタマイズする Logosease (ロゴシーズ)

※Logosease のソフトウェアバージョンが V201016 以上である必要があります。

ソフトウェアバージョンが V201016 より低い場合は、バージョンアップを行ってください。バージョンは Logosease スペシャルサイトのマイページログイン画面より確認できます。バージョンアップについては、マイページ内の手順にそってご対応をお願い致します。(マイページ登録には購入した商品のシリアルナンバーが必要です。バージョンの確認時、併せてシリアルナンバーも確認できます。)

2. Mac パソコン 1セット

必要なパソコンの条件

対応 OS

macOS 10.10 以上

※MacBook Air (Intel) : macOS 10.13.6、10.14.6、10.15.6、11.2.3、MacBook Air (M1) : macOS 11.2.2 に関して、弊社での動作確認が取れています。

※他のアプリケーションを閉じてからカスタマイズを実行してください。

※RG004 にて音声データにアクセスする場合にはカスタマイズツールを終了してから行ってください。

3. Logosease 充電スタンド 1個

4. Logosease 付属 USB ケーブル 1本

5. USB ハブ 1個

《動作確認済み USBハブ》

メーカー	シリーズ名	型番
エレコム株式会社	U2H-SN4BF2シリーズ	U2H-SN4BF2WH

★弊社にて上記機器との動作確認をしておりますが、動作保証をするものではありません。

【Logosease カスタマイズの手順】

1.

Mac パソコン — USB ハブ — 付属の USB ケーブル — 充電スタンド の順で接続してください。

※この段階では、まだLogoseaseを充電スタンドにセットしないでください。



※複数台のLogoseaseを一度に接続してのカスタマイズは 故障の原因となります。 PC
1台につきLogosease1台ずつの接続としてください

2.

スペシャルサイトのサポート→ダウンロード、またはマイページより「カスタマイズ設定ツール」をダウンロードしてください。

ダウンロードしたファイルはパソコンの任意のフォルダに保存してください。

3.

入手したファイル(LogoseaseCustomize_XXX.dmg)をダブルクリックしてください。尚、事前に“システム環境設定”-“セキュリティとプライバシー”のダウンロードしたアプリケーションの実行許可を“App Storeと確認済みの開発元からのアプリケーションを許可”するにチェックしてください。



下記「LogoseaseCustomizeTool.app」を「Applications」にドラッグしてください。既に古いバージョンが存在する場合には“置き換える”を選択してください。

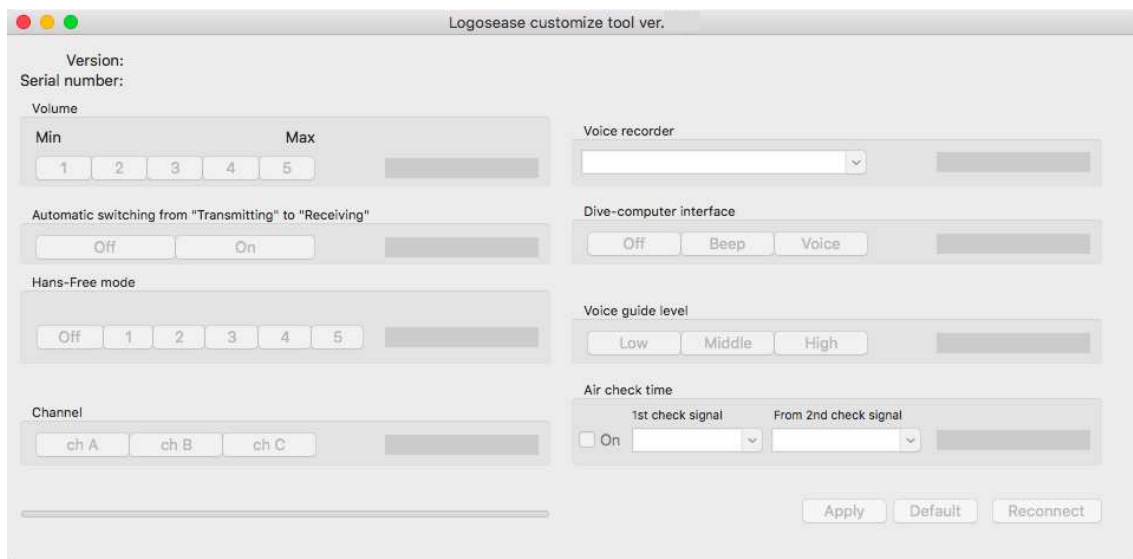


アプリケーションにインストール後下記ダブルクリックして実行してください。



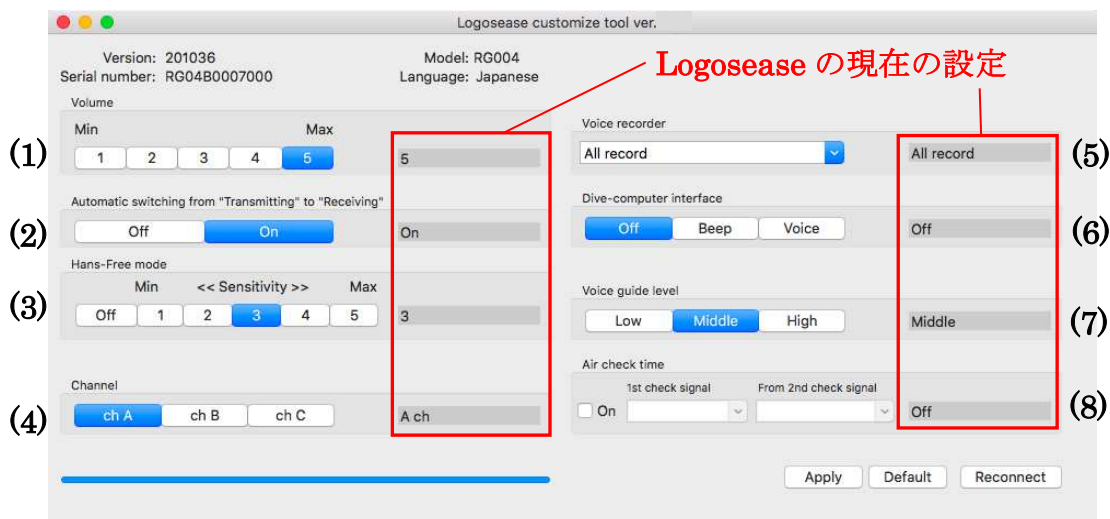
4.

Logosease Customize Tool が起動します。



5.

Logosease を充電スタンドにセットしてください。セットして5～10 秒程度経つと Logosease Customize Tool が Logosease の現在の設定を読み込みます。読み込みしない場合または途中で止まる場合は一旦充電スタンドから取り外し、再度セットしてください。



※設定を変更できる項目

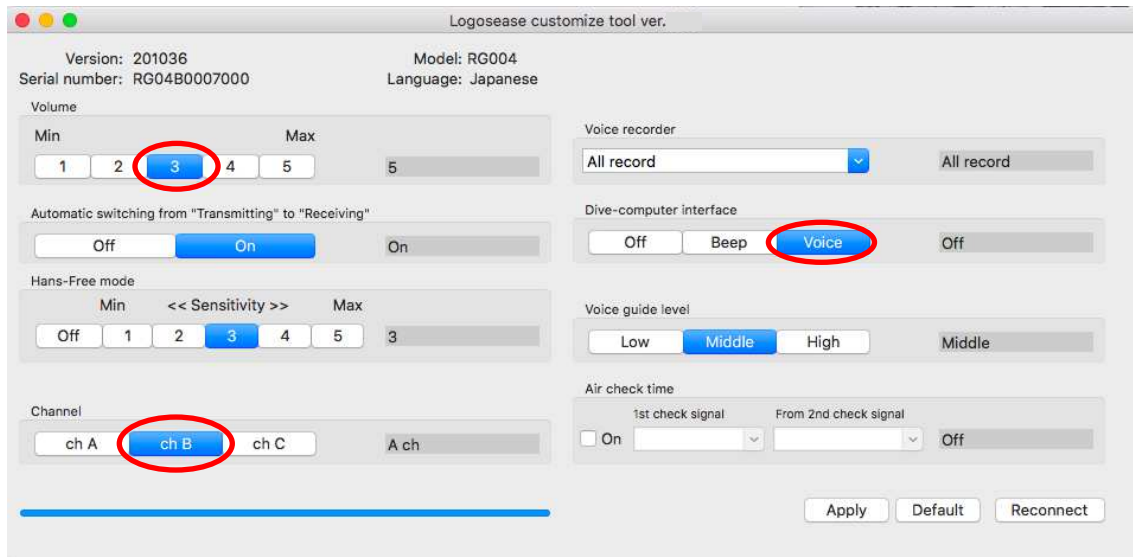
- (1) Volume: 音量 (1～5 数字が大きいほど音量が大きくなる)
- (2) Automatic switching from “Transmitting” to “Receiving”: 自動送信 OFF 機能。
送信時に無音を判定して、自動的に受信モードに切り替える機能の On/Off 設定
- (3) Hands-free mode: ハンズフリー機能。音声を判定して、自動的に送信モードに切り替える機能の On/Off 設定と感度設定 (Version 201026 以降で有効)
(OFF でハンズフリー機能が OFF、1～5 の数字が大きいほど感度が大きくなります)
※Version 201017 以前では機能の Off/On のみ選択できます
- (4) Channel: チャンネル
通信チャンネルの変更
- (5) Voice Recorder: ボイスレコーダー機能
 - Transmitting record: 送信音声をファイルに録音
 - Receiving record: 受信音声をファイルに録音
 - All record: 送信音声、及び、受信音声をファイルに録音
 - Record only: ボイスレコーダー専用モード(送受信を一切せずに、ボイスレコーダーとしてのみ機能するモード)

- (6) Dive-computer interface: ダイブコンピュータとの連携機能 (Version 201029 以降有効)
- Off: ダイブコンピュータの警報音を検出しない
 - Beep: ダイブコンピュータの警報音を検出してブザー音で知らせる
 - Voice: ダイブコンピュータの警報音を検出して音声で知らせる
- ※ 対応するダイブコンピュータ機種に関してはスペシャルサイトのサポート→ダウンロード
→『追加機能のご説明』をご確認ください
- (7) Voice guide level: 音声ガイドレベル設定 (Version 201033 以降で有効)
- Low: トレーニング、音量変更、チャンネル変更のみ音声ガイドが有効
 - Middle: 基本的に全ての音声ガイドが有効ですが、トレーニングモード実行すると、その後の起動時の操作ガイド音声のみ無効になります
 - High: 全ての音声ガイドが有効
- (8) Air check time: チェックエア音声の設定 (Version 201036 以降で有効)
- 設定した時間に“チェックエア”という音声が流れます
- On のチェックボックスにチェックを入れると有効になります
- 1st check time: 最初に音声が流れるまでの時間
- From 2nd check signal: 2 回目以降の音声が流れる間隔

6.

変更したい項目の設定値を選択します。

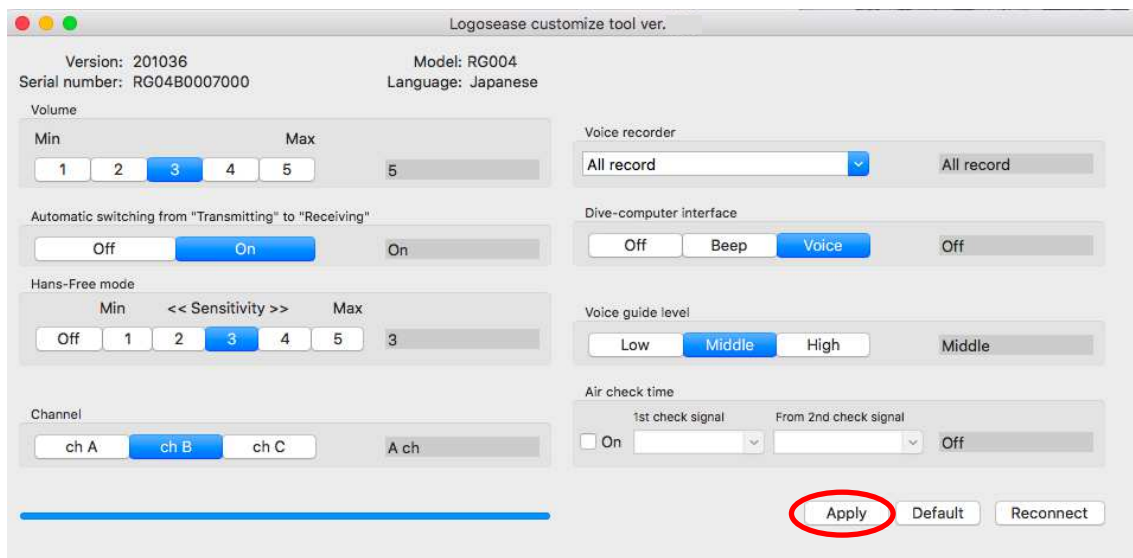
※ 選択を変更しただけでは、ロゴシーズに設定は書き込まれません。



7.

設定値を選択したら「Apply」ボタンを押してください。

「Apply」ボタンを押すと設定がロゴシーズに書き込まれます。

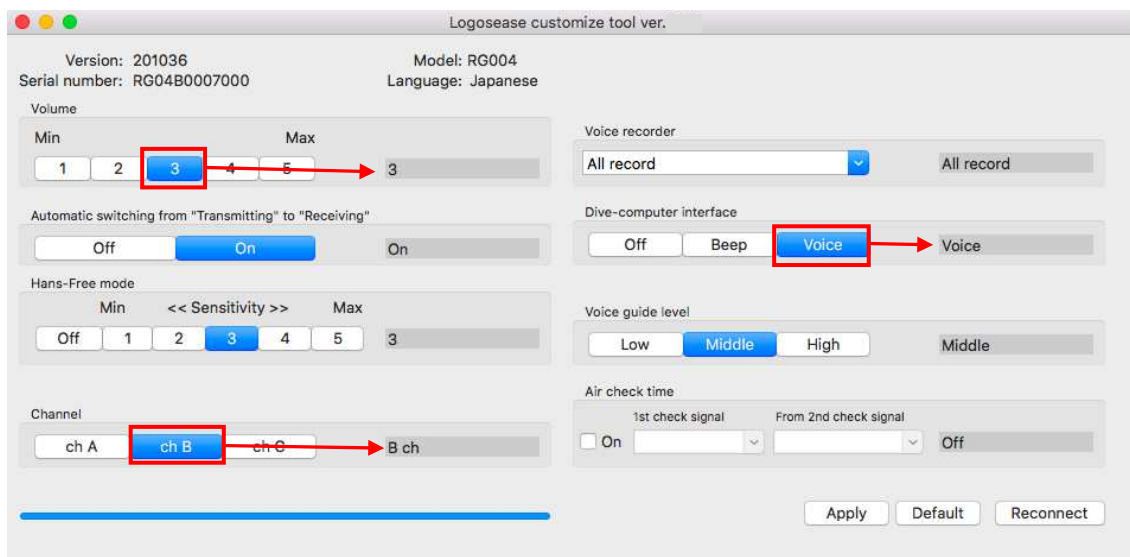


8.

設定が現在の設定に反映されたら、Logosease を充電スタンドから取り外してください。

Logosease を新しい設定でご使用できます。

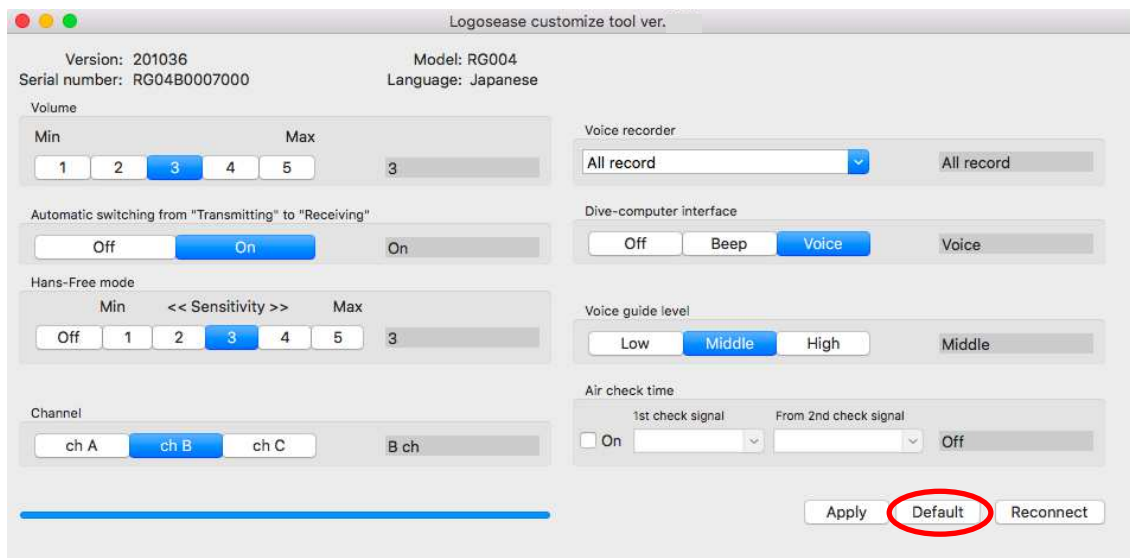
※ご使用の際はスペシャルサイトのサポート→ダウンロード→『追加機能のご説明』を必ずお読みください。



続けて他の Logosease の設定を変更する場合は、5. ～8. の手順を繰り返してください。

9.

設定を初期値に戻したい場合は、「Default」ボタンを押してください。設定が初期値にもどります。
※表示が更新されない場合は、一旦 Logosease を充電スタンドよりはずし、入れなおしてください。



以上